

令和6年9月17日

常陸太田市議会議員 藤田 謙二 様

常陸太田市議会

広報委員会 委員長 深 谷 渉

「常陸太田市議会報告・意見交換会」報告書

1. 日時

令和6年7月5日（金）午後6時30分から

2. 開催場所

生涯学習センター 講座室

3. 報告・意見交換会対応議員

- | | |
|----------------------|------------------|
| ①藤田 謙二（議長） | ②深谷 渉（副議長・広報委員長） |
| ③菊池 勝美（総務委員長・広報副委員長） | ④高木 将（文教民生委員） |
| ⑤高星 勝幸（産業建設副委員長） | ⑥益子 慎哉（文教民生副委員長） |
| ⑦平山 晶邦（総務委員） | ⑧鴨志田 悟（総務委員） |
| ⑨根本 仁（文教民生委員） | ⑩石川 剛（産業建設委員） |

4. 参加者数 29人

5. 説明資料 別添 説明資料のとおり

6. 概要（総括）

広報委員長の進行により、出席議員の紹介、議長あいさつ、意見交換会に入った。
今回、意見交換会のテーマである「常陸太田市の未来に向けて」の資料に基づき説明（広報副委員長）を行った後、2班に分かれて参加者と意見交換を行った。
その後、各班から出された主な意見の発表を行い、今後の議会活動の議論・政策形成につなげていくこととし、広報委員長が閉会に際しお礼を述べ終了した。

7. 意見・提起等

令和6年度議会報告・意見交換会 テーマ 「常陸太田市の未来に向けて」

【意見要約】(抜粋)

- 子どもが安心して通学できる交通インフラを確保してほしい。
- 子育て中の不安や疑問など、さまざまな悩みを持つ保護者のための支援がもう少し拡充されれば、生活しやすくなると思う。
- 若い人も大事だと思うが、高齢者も安心して暮らせるまちづくり、買い物に困らないまちづくりを希望します。
- 常陸太田独自のライドシェアとして、定年退職者に運転を担っていただいてはどうか。
- 中高年が健康維持できる器具を西山公園に設置してはどうか。
- 瑞龍山をメインに周遊できるような観光コースを作してほしい。
- 常陸太田産の日本酒やワイン、果物や野菜などの輸出PRをしてほしい。
- 現在開発中の東部地区の進捗状況はどのようになっているのか。

【議会報告・意見交換会終了後の確認事項】

問1 東部開発の官民連携複合施設の進捗状況について。

回答 (産業建設委員会で執行部確認) 令和4年に実施した公募型プロポーザルで最優秀提案者となった運営事業者の辞退により、令和6年5月に再公募を実施する旨、市ホームページに掲載しており、令和8年6月頃開業予定となっている。

問2 相続土地国庫帰属制度の申請ができない土地の1つとして「境界が明らかでない土地・その他の所有権の存否、帰属又は範囲について争いがある土地」があり、境界未定地が受け入れてもらえないため、議員の立場で全国的な活動をやってもらえないか。

回答 (産業建設委員会) 全国市議会議長会において、令和6年2月に、空き地・空き家に

係る手続きの簡素化や所有者の負担軽減等を求める要望書を国に提出している。

問3 太陽光発電のソーラーの開発が盛んに行われている中で、開発後の管理や土砂崩れなど様々な問題が起こるのではないかと心配がある。完成後の諸問題における法的な処置について、常陸太田市としてできるようにやっていただきたい。

回答 （文教民生委員会で執行部確認）太陽光発電の開発行為は、『常陸太田市再生可能エネルギー発電設備の適正な設置と地域環境の保全に関する条例』に基づき、内容審査のうえ許可される。開発後の管理については、許可規制に係る条件が付されている。また、開発行為事業者には、事前に周辺住民に事業説明が指示され、開発事業地には、「事業者名」と「連絡先」を明示した看板を設置するとともに、発電設備に問題が生じた際には、事業者の責任において解決する旨の誓約書を提出することとなっている。市役所内においても、問題が生じることがないように、事前に関係各課へ情報提供がなされ情報共有されている。

問5 自主防災の拠点、佐都小学校の周りが荒れていて、避難所に行くのにも、駐車する所がなくて困っている。災害時に使えるよう調整していただきたい。

回答 （総務委員会で執行部確認）現在、執行部において、地元の自主防災会と連携を図りながら、具体的な対処に向けて、対応している所である。

令和6年9月17日

常陸太田市議会議員 藤田 謙二 様

常陸太田市議会

広報委員会 委員長 深 谷 渉

「常陸太田市議会報告・意見交換会」報告書

1. 日時

令和6年7月4日（木）午後6時30分から

2. 開催場所

交流センターふじ 会議室

3. 報告・意見交換会対応議員

- | | |
|----------------------|------------------|
| ①藤田 謙二（議長） | ②深谷 渉（副議長・広報委員長） |
| ③菊池 勝美（総務委員長・広報副委員長） | ④宇野 隆子（文教民生委員） |
| ⑤成井小太郎（産業建設委員） | ⑥深谷 秀峰（産業建設委員） |
| ⑦小室 信隆（文教民生委員長） | ⑧森山 一政（産業建設委員長） |

4. 参加者数 34人

5. 説明資料 別添 説明資料のとおり

6. 概要（総括）

広報委員長の進行により、出席議員の紹介、議長あいさつ、意見交換会に入った。
今回、意見交換会のテーマである「常陸太田市の未来に向けて」の資料に基づき説明（広報副委員長）を行った後、2班に分かれて参加者と意見交換を行った。
その後、各班から出された主な意見の発表を行い、今後の議会活動の議論・政策形成につなげていくこととし、広報委員長が閉会に際しお礼を述べ終了した。

7. 意見・提起等

令和6年度議会報告・意見交換会 テーマ 「常陸太田市の未来に向けて」

【意見要約】(抜粋)

- 常陸太田市は『常陸秋そば』発祥の地。そばまつりは県内外の方が楽しみにしているイベントなので、今後の課題として考え対応していただきたい。
- 町会の中でICT化を推進していくために、町会長にパソコンを貸与してはどうか。
- 長いスパンで見たとき、街の様子もどんどん変わっていくと思う。自動運転EVバスも、今は予算などの問題はあると思うが、社会実験はすぐに結果が出るものではない。やってみた結果、どのように運用していくかだと思う。
- 登山マラソンは年々参加者が減っている。若い人にはトレイルの方が人気なので、金砂郷地区を周遊するトレイルレースを実施できないか。

令和6年9月17日

常陸太田市議会議員 藤田 謙二 様

常陸太田市議会

広報委員会 委員長 深 谷 渉

「常陸太田市議会報告・意見交換会」報告書

1. 日時

令和6年6月28日（金）午後6時30分から

2. 開催場所

水府総合センター 研修室

3. 報告・意見交換会対応議員

- | | |
|----------------------|------------------|
| ①藤田 謙二（議長） | ②深谷 渉（副議長・広報委員長） |
| ③菊池 勝美（総務委員長・広報副委員長） | ④高木 将（文教民生委員） |
| ⑤高星 勝幸（産業建設副委員長） | ⑥益子 慎哉（文教民生副委員長） |
| ⑦平山 晶邦（総務委員） | ⑧鴨志田 悟（総務委員） |
| ⑨根本 仁（文教民生委員） | ⑩石川 剛（産業建設委員） |

4. 参加者数 21人

5. 説明資料 別添 説明資料のとおり

6. 概要（総括）

広報委員長の進行により、出席議員の紹介、議長あいさつ、意見交換会に入った。
今回、意見交換会のテーマである「常陸太田市の未来に向けて」の資料に基づき説明（広報副委員長）を行った後、2班に分かれて参加者と意見交換を行った。
その後、各班から出された主な意見の発表を行い、今後の議会活動の議論・政策形成につなげていくこととし、広報委員長が閉会に際しお礼を述べ終了した。

7. 意見・提起等

令和6年度議会報告・意見交換会 テーマ 「常陸太田市の未来に向けて」

【意見要約】(抜粋)

- 常陸太田市は、近隣市町村の中でも CO2 の吸収量が一番良い。今後は、カーボンクレジットを活用するなど、森林のポテンシャルを活かして、環境保全の観点からの森林整備が必要。子どもに関心を持ってもらうため、街の近くの森林を整備しては。水戸市では少年の森がある。
- 今後の大きな問題は健康。高齢化が進み、車の運転ができなくなる。
- 人口減少の中で、地域の絆を深めることが大事。地域とのつながりで、いろいろな問題が解決できる。
- 「未来に向けて」のテーマなら、各地域の実情を知っている地元の高校生や20歳代の人など、多くの若い方々にも参加してもらい、各地区で意見交換会を開催してほしい。

【議会報告・意見交換会終了後の執行部確認事項】

問 水府小・中学校までのバス乗り入れが進んでいない。11階建てに匹敵する、高低差40メートル、距離500メートルの坂道を、児童は登校・下校している。暴雨、猛暑、熱中症などで、途中行き倒れのようなことが発生しないかと心配している。事実、パトカーで送ってもらった児童も何人かいる。また、これを嫌い他の学区に越境通学をしている児童や、学区外に家を新築して出て行く世帯もあり、人口減少に拍車がかかっている現状である。全ての児童に、学校乗り入れのバスの無償化を要望し、今後の未来に向けての提案とする。

回答 (文教民生委員会で執行部確認) これまでの水府小中学校におけるバス通学の現状と経緯について担当課より説明を受け、非常に難しい問題ではあるが、現状を踏まえた上で、協議検討を行いよりよい方向に進んでいってほしいと申し伝えた。

令和6年9月17日

常陸太田市議会議員 藤田 謙二 様

常陸太田市議会

広報委員会 委員長 深 谷 渉

「常陸太田市議会報告・意見交換会」報告書

1. 日時

令和6年6月26日（水）午後6時30分から

2. 開催場所

里美文化センター 大集会室

3. 報告・意見交換会対応議員

- | | |
|----------------------|------------------|
| ①藤田 謙二（議長） | ②深谷 渉（副議長・広報委員長） |
| ③菊池 勝美（総務委員長・広報副委員長） | ④宇野 隆子（文教民生委員） |
| ⑤成井小太郎（産業建設委員） | ⑥深谷 秀峰（産業建設委員） |
| ⑦小室 信隆（文教民生委員長） | ⑧森山 一政（産業建設委員長） |

4. 参加者数 23人

5. 説明資料 別添 説明資料のとおり

6. 概要（総括）

広報委員長の進行により、出席議員の紹介、議長あいさつ、意見交換会に入った。
今回、意見交換会のテーマである「常陸太田市の未来に向けて」の資料に基づき説明（広報副委員長）を行った後、2班に分かれて参加者と意見交換を行った。
その後、各班から出された主な意見の発表を行い、今後の議会活動の議論・政策形成につなげていくこととし、広報委員長が閉会に際しお礼を述べ終了した。

7. 意見・提起等

令和6年度議会報告・意見交換会 テーマ 「常陸太田市の未来に向けて」

【意見要約】(抜粋)

- 里美にいれば生きていける。野菜も作れるし、水もきれい。お互い足りないものは補うというコミュニティもできている。人間が生きていくための最高の場所だと思う。
- 里美に移住して大変だったのは家を探すことだった。空き家などを活用し、移住者へつないでほしい。
- 移住者が増え、新しい風がどんどん吹いており大変ありがたい。一方で生活面に問題がある。取り残される地域がないように、市全体としてバランス良く里美地区の方向性を考えてほしい。
- 常陸太田市はロケーションが良いので廃校を日本語学校に活用してはどうか。
- 妊娠中の体調不良や陣痛等がきたときに備え、救急タクシーなどの対応があると良い。牛久市には陣痛タクシーがある。
- 若い人が働ける場所を作る必要がある。